

会議録(概要)

会議の名称	令和3年度 第2回 佐渡市男女共同参画推進懇談会
開催日時	令和4年2月28日(月) 午後1時30分から3時00分
場所	新穂行政サービスセンター 会議室
議題	(1) 男女共同参画セミナーの開催報告について (2) 令和3年度 男女共同参画推進事業 庁内推進施策の実績について (3) 令和4年度 男女共同参画推進事業計画(案)について (4) その他
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	有識者5名、公募参加者1名 事務局：企画課 政策推進係 係長 安藤 辰也 主事 長島 崇史
会議資料	資料No.1 男女共同参画セミナー開催報告 資料No.2 男女共同参画推進事業 庁内推進施策実績一覧 資料No.3 令和4年度 男女共同参画推進事業計画(案)
備考	

会議の概要(発言の要旨)	
発言者	議題・発言・結果等
安藤係長	あいさつ
座長	議題(1) 男女共同参画セミナーの開催報告について報告をお願いします。
長島主事	(資料No.1に基づき、概要説明)
座長	参加者はみなしっかりした考えを持っていて、よいセミナーとなった。ただ、参加者から他の人への広がりあまり多くないのが課題だと感じた。
A氏	夫婦生活などで苦しんでいる方にもっとアプローチできるような募集方法を検討したほうがいいのではないか。
B氏	若い世代は忙しいので、貴重な休みの時間はこのような勉強会よりも子どもと遊

	<p>びに行くことに使いたい人が多いと思う。よって、男女共同参画セミナーも、親子が参加するようなイベントと一緒に開催したほうがいいのではないか。</p> <p>また、企業研修の形にして、事業所から参加者を出してもらうのもいい方法だと思う。「産業振興セミナー」は 50 人くらい来るので、そのような開催方法がいいのではないか。</p>
座長	<p>他の課との協力が重要になってくるので、事務局でいいやり方を検討していただきたい。</p>
安藤係長	<p>過去に、キッズお仕事体験に出展して、主に男性向けの家事の共有に関する体験やワークショップなどを計画していたが、キッズお仕事体験が新型コロナにより開催できなくなったため、今年度は実施できなかった。</p> <p>他に、例えば法人会などで、組織のトップへの啓発を行うことも一つの方法だと考えている。</p>
座長	<p>倫理法人会などを対象にするのもひとつの案かと思う。</p>
C 氏	<p>このセミナーは、一般への意識啓発を目的としているのか、個別の家庭の問題解決を目的としているのか、もう一度確認させてください。</p>
安藤係長	<p>意識啓発を目的としている。</p>
C 氏	<p>意識啓発のためのセミナーを実施するのであれば、事業主などを対象とした方がいいように感じる。</p> <p>この懇談会は何年も続いているが、社会は何も変わっていないと感じる。</p>
B 氏	<p>社会制度は変わってはいなくても、若い夫婦の意識はどんどん変わってきているようにも感じる。保育園の送り迎えなども、夫が来るのは日常になっている。最近、LGBT も話題になり、男女という性の平等を議論するような時代ではなくなってきていると思う。</p>
座長	<p>男女共同という名称にとらわれず、性別に関わらず人としてどのように生きていくか、という論点が重要になってきていると感じる。</p>
座長	<p>次に、議題（2）令和 3 年度 男女共同参画推進事業 庁内推進施策の実績について、事務局から説明をお願いします。</p>
長島主事	<p>（資料 No.2 に基づき説明）</p>
C 氏	<p>最近、DV や虐待の件数が増えていると聞いている。夫が何もしてくれないという話もよく聞く。</p> <p>そういった問題に対して、啓発や問題解決するような具体的に取り組みが必要な</p>

	<p>のではないか。</p> <p>実際に DV を受けている人は、周りの人に相談しても、周りの人は DV ではなく単なる夫婦喧嘩程度にしか受け止めてくれないと聞く。島外に相談をすることで、ようやくそれを DV として認めてもらえた、という事例も知っている。それだけ身近に DV はあるのに相談できないという状況が存在している。</p>
安藤係長	相談窓口を設置しているが、確かに DV を広く認識してもらおうという機会が必要だと感じる。
B 氏	言葉の暴力もある。当事者も DV だと認識していないこともある。どうやったらそう言った声を拾えるか、それが難しい。
座長	<p>ハラスメントも同じだと思う。声を拾うことの難しさを感じる。</p> <p>本来であれば、担当課の人員を補強して対応できれば一番いいと思う。</p>
安藤係長	普及啓発の取り組みを進められるように、担当課と話をしたい。
座長	続いて、議題（3）令和4年度 男女共同参画推進事業計画（案）について事務局から説明をお願いします。
長島主事	（資料 No.3 に基づき、説明）
D 氏	来年度のセミナーの周知で、何かできることがあればもっとお手伝いさせていただきます。
長島主事	ありがとうございます。可能な範囲でご協力をお願いしたいと思います。
C 氏	県のハッピーパートナーではなく、佐渡市独自の制度を作るといった話もあったように覚えているが、どうなっているか教えてほしい。
安藤係長	<p>議会で他市での取り組み事例が紹介され、佐渡市に対しても提案された。佐渡市としては、検討している段階である。</p> <p>国のくるみんやユースエール、県のハッピーパートナーなどの仕組みや、助成金もたくさんある。まずはそれらの仕組みや助成金を活用してもらえるように周知を進めていくことが重要と考えている。</p>
座長	色々な支援制度はすでに存在しているが、どうやって事業者に届けるかというのが課題。
安藤係長	産業振興セミナーなどに参加した企業に対して周知することが近道だと考える。
座長	最後に、議題（4）その他、議論をお願いします。

長島主事	令和 4 年度からは所管課が市民生活課になり、人権の担当と男女共同参画の担当が一緒になる予定。ただ、事業内容や懇談会の運営が大きく変わることはない。
座長	所管が変わることに伴い、事業や懇談会の内容もより良くなるように期待したい。
C 氏	男女の問題は、立派な人権問題だと思っている。しかし、一方で家庭の育児分担を人権の問題として語れるか、というと、そうではないと思う。
安藤係長	確かに人権と家庭の家事育児の話と一緒に議論するのは難しいと感じる。
座長	人権と男女共同参画は明確に分けず、まずは男女平等を進めることが大切だと思う。
C 氏	佐渡には仕事がないと言って帰ってこない若者もいる。UI ターン者を増やすために、女性の働く場を増やすことも重要だが、これは人権の論点では触れることがない。やはり、人権だけではなく、女性活躍の視点も大切にしてほしい。
B 氏	この懇談会のメンバーについても、組織のトップに依頼しても数年でトップが交代することが多く、継続性がない。それよりも、例えば民間企業の経営者や看護師に来てもらうなど、構成メンバーの再考も必要ではないかと感じている。
安藤係長	過去に別の会議でトップではない方をお願いしたこともあるが、結局トップの方が出席せざるを得ない現状があるようで、残念ながら実現できなかったこともある。メンバーのあり方については検討させていただきたい。
座長	みなさん活発なご意見をいただき、誠にありがとうございました。